

「第3回滑稽俳句大賞」に目出度く発表、入選の方々、おめでとうございます。落ちた中にも沢山の佳句がありました。拾ってみました。滑稽句を見ていると人間てこんなにも愉快で可愛いものですね。滑稽俳句やる人に悪人無し。世の中明るくなります。

冷蔵庫ラップミイラの残りもの うたこうじ番茶

物の溢れている昨今にチクリ。今回の地震に自粛しましょう。  
自分がミイラにならないように。

名月のシュートしたるやベランダに うたこうじ番茶

ベランダに動かない名月の発想が柔軟。

こじつけのやうな滝あり四十八 小林英昭

仏教の四十八の誓願を意味しているのかもしれないが、  
48はないと私も思った。

あの世には届かぬ年賀返りくる 下嶋敏夫

言い得て妙。寂しさの残る滑稽。

わが脚も影なら長し秋の空 寿命秀次

こんなにもスタイルが良かったかと。人間、思いこんだら自信が出る。

駐在所の縄で縛りし大南瓜 伊地知寛

交番の手前で曲がる蟻の列 伊地知寛

バチカンやあくびの猫も信者顔 大井光隆

ソーラーのパネルに蓄める冬日和 久我正明

右手の蚊左手が打てり鏡中 原田 嘩

寒灯や白内障は目の白髪 三木蒼生

雪達磨だんだん目尻下がり来る 山本あかね